G-LAB
GUITAR LABORATORY

SMOOTH DELAY SD-1

取扱説明書

■ 安全上のご注意

火災、感電、人身傷害の危険を防止するために以下の指示を守ってください。

⚠ **警告**

この注意事項を無視した取り扱いをすると、重大な事故を引き起こす可能性が予想されます。

- 次のような場合には、直ちに電源を切る。
  - ・異物が内部に入ったとき。
  - ・製品に異常や故障が生じたとき。
- 修理が必要なときは、お買い上げの販売店、最寄りの販売店へ修理を依頼してください。
- 本製品を分解したり改造したりしない。
- 修理/部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは絶対しない。
- 本製品に異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)を入れない。
- 温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、発熱する器具の上など)での使用や保管はしない。
- 振動の多い場所で使用や保管はしない。
- ホコリの多い場所で使用や保管はしない。
- 風呂場、シャワー室での使用や保管はしない。
- 雨天時の野外などのような湿気の多い場所で使用や保管はしない。
- 本製品の近くに液体の入ったもの(水や薬品等)を置かない。
- 濡れた手で本製品を使用しない。

⚠ **注意**

- 正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。
- ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。
- ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤作動する場合があります。またラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。
- 外装のお手入れは乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。
- 長時間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を抜く。
- 電池は幼児の手の届かないところに保管する。
- スイッチやツマミに必要以上の力を加えない。故障の原因になります。
- 外装のお手入れにベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド、強燃性のポリッシャーは使用しない。
- 不安定な場所に置かない。

島村楽器株式会社

商品開発事業部

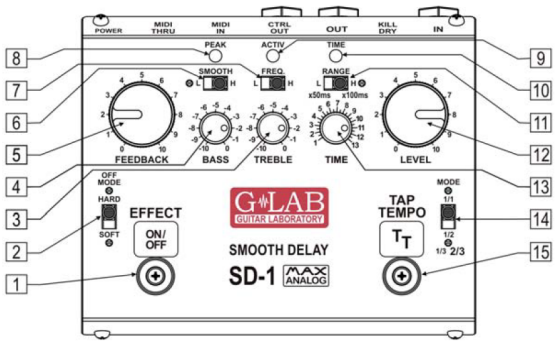
〒132-0035 東京都江戸川区平井 6-37-3

Tel. 03-3613-4160

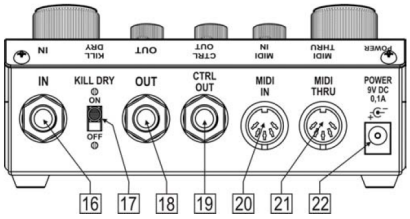
SMOOTH DELAY SD-1

取扱説明書

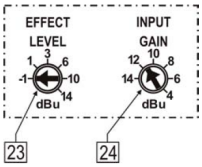
スムースディレイ(SD-1)は MAX アナログテクノロジーを搭載したクラシックなディレイです。ギターの音は 24 ビット DSP プロセッサーによって調整処理され自然なサウンドを実現することができます。これはディレイの高周波と低周波の減衰を拡大することで滑らかになり、アナログディレイやテープエコーの効果を生み出すことができます。

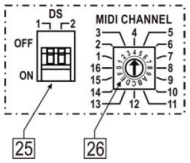


1 – エフェクト ON/OFF フットスイッチ
2 – HARD/SOFT OFF モードスイッチ
3 – TREBLE – ハイトーン設定ノブ
4 – BASS – ロートーン設定ノブ
5 – フィードバック –(リピート数設定)ノブ
6 – SMOOTH L/H スイッチ
7 – TREBLE レギュレーター機能用 FREQ L/H スイッチ
8 – PEAK インジケーター
9 – ACTIV – エフェクト ON インジケーター
10 – TIME – ディレイタイムインジケーター
11 – ディレイタイムノブ用 RANGE L / H スイッチ
12 – LEVEL – エフェクトレベルノブ
13 – TIME – ディレイタイムノブ
14 – TAP TEMPO スイッチ用 MODE 1/1 / 1/2 スイッチ
15 – TAP TEMPO フットスイッチ



16 – インプット
17 – KILL DRY スイッチ – ドライ信号 OFF スイッチ
18 – アウトプット
19 – DUAL REVERB コントロール用出力
20 – MIDI IN 入力
21 – MIDI THRU 出力
22 – 9V 電源接続端子





23 – エフェクトレベル – ディレイ最大音量設定ツマミ

24 – GAIN INPUT –入力感度設定ツマミ

25 – DS1/DS2 スイッチ

26 – MIDI チャンネル設定スイッチ

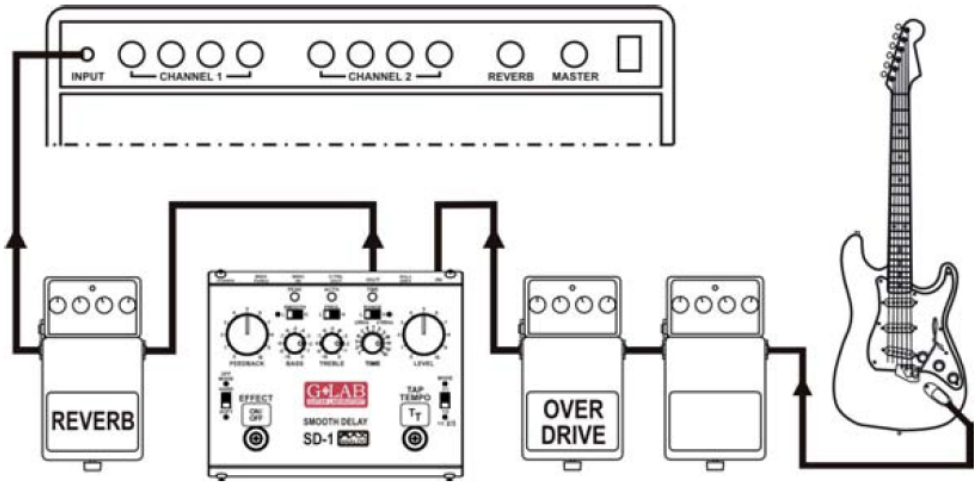
使用方法

9V DC 電源アダプターを繋いでご使用ください。電源アダプターのコネクターは正しい極性(+/−)であることをご確認ください。

備考:適切でないアダプターをご使用になりますと破損する恐れがあります。

接続方法

エフェクター類の最後もしくは一つ前に接続してください(SD-1 の後には REVERB タイプのエフェクターを接続してください)。



アンプのオーバードライブチャンネルを使用する場合、アンプのエフェクトループに接続してください。SD-1 はシリアルループでもパラレルループでも接続することができます。

パラレルループ接続の場合のみ、KILL DRY スイッチと DS-1 を ON に設定してください。それ以外の場合は KILL DRY スイッチと DS-1 は OFF にしてください。 TRUE BYPASS のため、SD-1 のフットスイッチや MIDI コマンドを使用してエフェクト ON/OFF を切り替えてください。ディレイソフトオフモードを使用することができます。

入力ゲイン設定およびエフェクトレベル設定

入力ゲイン設定およびエフェクトレベル設定は、ギターの出力と入力感度を最適に合わせることができます。設定は小さいマイナスドライバーを使い、ディレイ音と最大シグナルレベル(通常はクリーントーン)を調整します。入力ゲインは PEAK インジケーターが点滅しない最大値で設定します。dBu 値は入力 GAIN レギュレーターの dBu 値と同じくらいに設定してください。エフェクトレベルレギュレーターは好みの LEVEL ノブの範囲に調整することもできます。

トーンパラメーター設定

ディレイタイムは基本的なパラメーターです。SD-1 では TIME ノブと RANGE スイッチ（より正確な調整）を使用して設定することができます。TIME インジケーターの点滅によってディレイの速さが分かります。

ディレイタイムは TAP TEMPO フットスイッチでも設定することができます。TAP TEMPO では演奏中の曲のテンポに合わせることができます。 MODE スイッチはフットスイッチを押すことでリピート比 1/1 または 2/3（1/3、1/2）で入力することができます。MODE スイッチを下側にすると比率を 1/3、1/2、2/3 に変更することができます。フットスイッチを押す、またはホールドすることで比率を変更することができます。

SD-1 は最後に押した 2 回の間隔に基づいてテンポを決めます。最後に押した 2 回の間隔が、1/1 モードで 1.3 秒以上、1/3 モードで 3.9 秒以上、1/2 モードで 2.6 秒以上、2/3 モードで 1.9 秒の場合は対応しません。現状位置から TIME ノブを可変することでテンポが変わります。TAP TEMPO フットスイッチを 1 秒以上押し続けると現状位置での TIME ノブのテンポを設定します。

エフェクト音量とリピート回数

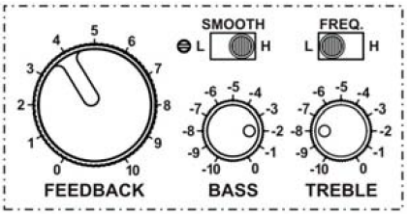
LEVEL ノブでエフェクト音量を設定します。最大音量はエフェクトレベルレギュレーターの設定値によって決まります。

FEEDBACK ノブでリピート回数を設定します。FEEDBACK ノブを 0 に設定するとリピートは 1 回となります。

FEEDBACK と LEVEL ノブは足で回すことができます。バックライト付ノブなので暗闇でも確認することができます。

BASS と TREBLE ノブはリピート音のトーンを調整します。目盛り右いっぱい（0 マーク）でフラットとなります。レギュレーターは低音域および高音域の減衰を可能にします。 FREQ スイッチは TREBLE ノブの周波数レンジの変更が可能です。L の位置に切り替えると TREBLE ノブの周波数レンジを低い周波数に移し、典型的なテープエコーやアナログディレイのようなトーンを得ることができます。また、SMOOTH スイッチを H（HIGH）の位置に切り替えると連続的なリピートに効果的な高周波と低周波の減衰を拡大することができ、遠くの距離から聞こえるような効果をもたらします。

下記は有効な SD-1 の設定です。

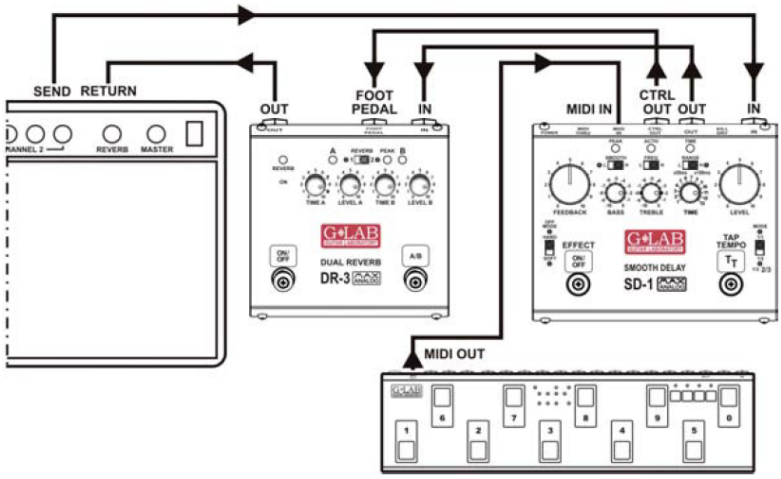


エフェクトスイッチオフ

スイッチオフモードは OFF MODE スイッチの位置によって決まります。HARD モードではリピートをミュートしながら瞬時にオフになります。ソフトモードでは前に演奏した音が最後まで残ります。

DUAL REVERB コントロール用出力

DUAL REVERB コントロール用出力は MIDI コマンド経由または SD-1 の ON/OFF スイッチで DR-3 をコントロールすることができます。CTRL OUT からステレオケーブルで DR-3 の INPUT に接続してください。これにより残響効果が得られます。



MIDI チャンネルの設定

MIDIチャンネルを設定するにはMIDIチャンネルスイッチを使用します。小さなドライバーを使ってチャンネルを変えて下さい。矢印の向きをチャンネルに合わせてください（A、B、C、D、E、F の文字はチャンネル番号 10、11、12、13、14、15 に対応します。0 桁は 16 に対応します）。 CTRL OUT では、コマンドを受けるチャンネルは、MIDI チャンネルのスイッチ（チャンネル番号 16 は、チャネル番号 1 です）の設定よりも高くなります。

MIDI コマンドを介したコントロール

SD-1 はプログラムチェンジやコントロールチェンジコマンドでコントロールすることができます。

以下の表は、プログラムチェンジコマンドの機能を示しています。

Prog Change Number	Functionality
1	Switch off the effect (the mode is defined by OFF MODE switch position)
2	Switch off the effect in HARD mode
3	Switch off the effect in SOFT mode
4	Switch on the effect
5 to 128	Switch on the effect with delay time Pr.Ch. x 10 ms

以下の表は、コントロールチェンジコマンドの機能を示しています。

Control Change Number	Control Change Value
102	0-63 switch off the effect (the mode is defined by OFF MODE switch position) 64-127 switch on the effect
103	4–127 delay time = Value x 10 ms +10 ms
80	(0 and 127 alternately) TAP TEMPO function

以下の表は、CTRL OUT 出力のプログラムチェンジコマンド（DR-3 をコントロールする）の機能を示しています。

Prog Change Number	DR-3,	DR
1	REVERB ON, SET A	SET A
2	REVERB ON, SET B	SET B
3	REVERB OFF, SET A	SET A
4	REVERB OFF, SET B	SET B